

探訪シリーズ

日本の国が幕末動乱・激動のとき この新居地方は、伊予は、どうあったのでしょうか



伊予八藩分布図

3年後の2024年に、福沢諭吉にかわって一万円札の肖像になる渋沢栄一を主人公としたドラマがテレビで放映されています。渋沢栄一は日本の資本主義の父と呼ばれ、近代日本の経済界をけん引した数々の功績で知られています。

今、ドラマは栄一の幼少期から青年期の時で、栄一は青春の真っ直中にあります。時は幕末です。

徳川家康が、1603年に江戸に幕府を開きましたが、幕府は「鎖国」の外交政策をとり、この鎖国が250年も続いたので、日本は大きく発展をすることがありませんでした。その間にヨーロッパで工業が著しく発達し、やがて「蒸気機関」が発明されました。

1854年に、アメリカ艦隊司令長官のペリー提督が最新鋭軍艦7隻を率いて浦賀に二度目の来航、強硬に通商条約の締結を迫りました。この「黒船」は、真っ黒な船体の戦闘艦で、帆船ではなく煙突からモクモクと黒い煙りをはいて航行してきたことから大変な驚きでした。しかも、搭載している大砲の飛距離は日本の大砲より遠くに飛んだので幕府にとって大きな脅威となりました。これをきっかけに、日本は外国に比べて産業も国力もはなはだしく乏しいことに気付きました。今後、どう対応すべきか？日本を守るにはどうしたらいいのか？まさに国難の時代であります。

国内では、外国と戦うべきだと言う攘夷派、外国との交遊を主張する開国派、そして保守派、尊皇派、倒幕派など意見の違いが出て来ます。そして、意見が異なる者同士が時には血を流して争うような激動の時代となったのです。このような国難は、幕府・武士の世界だけでなく日本中が大騒動となり、百万の江戸庶民も大騒ぎの中にありました。

この天と地がひっくり返ったような出来事も、遠く離れたこの新居地方においては、関係のない出来事であったのでしょうか。今のようにテレビやラジオ、さらには電話さえ無かった情報の乏しい時代ですから大騒ぎをするよしもありません。しかし、武士の世界においては、そうもいきません。この時代、この地方は西条藩の領地で西条藩が治めていました。大名は幕府が定めた武家諸法度により、幕府の命令に従わなければなりません。この度の黒船来航の国難については、外国船打払いなど沿岸の防備に奔走したのでした。

情報伝達は、幕府から各藩へは大名飛脚によるもので、今の時代に比べて時間は要しますが、詳細確実な通信網でありました。この時代全国に300余の藩がある中で、愛媛には「伊予八藩」がありました。この地方を治める「西条藩」のほかに、宇和島、吉田、大洲、新谷、松山、今治、小松併せて八藩と、他に幕府直轄の天領がありました。

江戸幕府の大政奉還、そして王政復古、土地と人民を朝廷に返上する各藩の版籍奉還、やがて、廃藩置県の明治時代を迎えます。幕末・維新の激動の中で伊予八藩はどう対処したのでしょうか？どのような歴史があったのでしょうか？このことについては又の機会にします。

祝 神郷探訪の連載が

200回を超えました

平成14年10月～



「神郷探訪シリーズ」の作者さんを紹介。
渡部 強さん（第6代神郷公民館長 平成13～16年）
田の上在住

探訪シリーズは、平成14年10月「旧別子探訪」からスタートし今回のシリーズでなんと204回目になります。19年間、ほぼ毎月休まず掲載して下さっています。

内容は、神郷の名所、旧跡の話から、神郷の各種団体の話、神郷の歴史、昔話と多岐にわたります。特に興味を持ったのは、あの俳人小林一茶が田の上に泊まって句会を開いた話や甲子園大会で新居浜商業が神郷出身者の活躍もあり準優勝した話です。内容もさることながら、穏やかで優しいお人柄が紙面にあふれています。

渡部さん曰く「公民館長時代に、あちらこちらの校区に、それぞれふるさとの歴史をまとめた冊子があるのを見かけ、神郷も何か形になるものを編纂したいものだという思いから、毎月の公民館だよりに「ふるさと探訪」という枠を活用させていただき短編ものを寄稿してきました。内容については、年代も項目も系統をたてたものではなく、資料や情報が集まるものから手掛けて、今日までまとまりました。校区の人々がふるさとの歴史を再認識し、お互いの日常生活の一助としていただければ幸いです。」（平成20年12月 神郷公民館50周年記念 神郷のあゆみの序説より引用）

校区の皆さん毎月楽しみに待っています。渡部さん、お身体に気を付けて、これからもよろしく願いいたします。
※これまでの掲載を見たい方は公民館にありますので、窓口に声を掛けて下さい。

初めて野球とふれあう初心者向け体験会！

ティールール・キャッチボール教室を開催します

日時：令和3年7月10日（土）15時～18時
場所：市営野球場 対象：小学1年生～3年生
参加費：無料 申込み：市民体育館HP、窓口、Fax、
往復はがきのいずれかで、①氏名②住所③学年④電話番号を6月25日（金）までにお知らせください。
申込み先：市民体育館〒792-0864 東雲町1-1-25
Tel：34-1888 Fax：32-4044

6月(水無月)の行事予定

2日 (水)	19:30～	少年補導定例会	神郷公民館
7日 (月)	19:00～	老人会長会	〃
14日 (月)	19:00～	民児協定例会	〃
21日 (月)	19:00～	社協理事会	〃
22日 (火)		老人クラブ輪投げ大会	〃
24日 (木)	19:30～	連合自治会長会	〃
26日 (月)	19:30～	少年補導定例会	〃